

単元名 はこで つくったよ(立体)

配当時間 4時間

単元の目標 (1) 表したい形になるように、箱の組み合わせ方や接着の方法を工夫して立体に表すことができる
 (2) 箱を並べたりつなげたりして、繰り返し試しながら表したい形を考えるとともに、できたものの面白さに気付くことができる。
 (3) 箱を組み合わせることで立体に表すことを楽しもうとする。

標準的な展開例

01080105_001

【準備等】色画用紙の切れ端、いろいろな大きさの形の箱（小さなものを多く集める）、身辺材（空き容器、トレイ、紙コップなどで、箱につけたいもの）、粘着テープ、セロハンテープ、両面テープ、化学接着剤、木工用接着剤、のり、はさみ、画用紙、クレヨン、パス、サインペン、画用紙、ダンボール、洗濯ばさみ など

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 教科書の参考作品を見て、箱を使ってつくりたいものを考える。</p> <p>○参考作品を見て、気付いたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箱をつなげてできている車 ・空き容器やトイレットペーパーの芯を使っているよ。 ・箱を縦にして、ペンギンの体になっているよ。 ・同じ大きさの箱を使うと動物の足にいいね。 ・たくさん重ねたら色がきれいだね。 <p>○箱と箱、箱と身近な材料を組み合わせることで、何に見えるか発表する。</p> <p>★箱の組み合わせ方を工夫して、楽しい仲間をつくろう</p> <p>○箱と箱の接着方法や立たせ方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粘着テープを丸めて貼ればよさそうだな。 ・両面テープを使うときれいに貼れそうだね。 ・同じ大きさの箱を使って足をつくれればしっかり立ちそうだよ。 <p>○箱を見たり触ったりしながらつくりたいものを考える。</p> <p>2～4 箱を使って、思い付いたものをつくる。</p> <p>○箱と箱、箱と身近な材料を組み合わせ、試行錯誤してつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つないでもっと長くしてみよう。 ・高く大きくして、強そうにしてみよう。 ・色のテープで縞模様をつくろう。 <p>○つくった作品で友達と一緒に遊び、作品の色や形、工夫などの面白さを味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな箱で馬をつくった子がいるな。一緒にならべると親子みたい。 ・同じ馬でもつくり方が違うよ。 ・みんないろいろなものをつくっていて、楽しいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書1・2上 P.44, 45 ・事前に紙製の箱をたくさん集めておくように指示しておく。また、箱と組み合わせるとよさそうな空き容器やトレイなども集めるようにさせる。 ・箱をどのように使って活動しているかをつかませる。 ・ペットボトルなど箱以外の材料も使ってよいことを知らせる。 <p>・箱の組み合わせ方の違いで印象の違う作品ができることに気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくりたいものや箱の形に合わせて、接着の仕方を変えることで丈夫できれいに作ることができることを助言し、工夫してつくことを提案する。 ・教科書P.65を参考に、両面テープの使い方について指導する。 ・立体に表すことを意識できるように、「どの箱をどのように使ったら立つかな」と問いかけたり、向きを変えて「ここから見るとどうかな」と様々な向きから見ることを示したりする。 <p>【評】作品を通して、箱を組み合わせ、つくりたいものを思い付く「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めから決めたものをつくらせるのではなく箱を使ったいろいろな活動をして試行錯誤させながら、つくりたい思いを引き出すようにする。 ・自由に活動できるように、できるだけ広いスペースを確保する。 ・厚紙を土台にしてつくってもよい。 ・友達とつくりたいという希望があれば、グループ活動をさせる。 ・一人でつくったものを、後で友達の作品と合体させてもよい。 ・顔の表情をペンでかいたり、体の模様などを身近な材料を使って表したりしてもよいことを知らせる。 <p>【評】作品を通して、つくりたい形や様子になるよう、箱と箱、箱と身近にある材料を、工夫して組み合わせたり、接着したりしてつくる「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料の特徴を生かして、どんな作品をつくることのできたか注目させる。 ・作品に名前を付けたり、性格などの設定を考えたりしながら、自己紹介させるとよい。 <p>【評】自分や友達の作品を見合う活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】これまでの学習活動や作品を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】

他教科との関連

算数科の図形における算数的活動で利用した箱を利用できる。